

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月26日

事業所名 えびす夙川 スタッフ回答数14

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学生スタッフに対する指導だけではなく、常勤スタッフ内でも日々改善し続けている様子が感じられる ・コロナ禍で、密な環境を避けるために、開所時間を前半後半に分け、少人数での受け入れをしている。プレイルームには極力物を置かないようにし、十分な活動スペースを確保している。 ・二部制にして、人数を設定している。 ・レイアウトや使用方法などに工夫が必要 	
	2	職員の配置数は適切である	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・制度に基づいた職員配置の他、個別支援が必要な利用者に対しては追加して支援員を配置している。 	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	2(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものできること、できないことが分かり易い ・室内については段差も少ない環境であるが、玄関前の階段の昇降が負担になる方もいる。 ・1階に降りる階段、相談スペース側のシャッター前を整頓が必要 	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な職員ミーティングを実施し、PDCAの流れに沿った運営を実施している。 ・その他指導員などの参画をいかに高めるか検討が必要である。 	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・成長療育システムHUGを導入し、利用者の活動記録を毎回保護者に開示しており、利用者や保護者からのご要望があった場合にはできる限り早急に対応している。 	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ以外での公表、活用を検討していきたい。 	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は第三者評価は実施していない。 	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースカンファレンスを実施する際に、心理士からの助言を受けながら、その都度必要な支援方法について学んでいる。 ・機会がないわけではないが、不定期である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に必要な専門性を高めるための研修を企画し、実施していきたい。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ内での支援計画の共有 ・利用者や保護者の状況やご要望に沿ってモニタリング時期を決めている。個別支援計画更新の際には保護者面談を実施し、アセスメントを行なっている。 	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として、アセスメントツールの導入を検討中。 	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の課題に対して職員全員が参加するミーティングで内容を決定している。 	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の課題に対して、その都度活動プログラムを柔軟に変更し、適切な支援を提供している。 	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や休業日をふまえて、内容を検討し実施している。 	

は 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	2		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	5		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	5		会議が開催されたときにはできる限り児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	6		基本的に保護者を通じて学校の情報を把握している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	11	・現在は医療的ケアの必要な利用者はいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	7		今後、新小学校1年生を受け入れる際には、実施していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	6	・利用者や保護者のご要望があった場合に実施している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	8		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6(7)	・現在は、一緒に活動する機会を設定していない。 ・コロナのこともあり難しい状況。 ・学童等への移行や連携が必要	
	27	(地域自立支援)協会等へ積極的に参加している	4	4(6)		できる限り参加するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	3		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	9	・保護者向けの研修会を紹介している。面談時に保護者に対して関わり方を助言している。 ・オンラインでの受講を勧めている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	5	利用契約時に実施している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	3		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3(7)	・現在は保護者会は実施していない。	・保護者の要望を聞きながら実施を検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	4		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	4		
	35	個人情報に十分注意している	13	1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	3		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2(6)	・今年度はコロナ禍という状況なので、実施していない。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	2	・利用契約時に、文書と口頭にて説明している。	・さらにわかりやすく周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2(3)		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	3	・利用契約時と定期的な面談の際に説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	4		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	3		